

# 環境モデル都市九州・沖縄3都市連合エコハウス講演会が開催されました。

## 21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業



落成式及び講演会の概要



水俣市エコハウス外観



水俣市エコハウス食堂

### 【講演会の内容】

愛知産業大学大学院教授の延藤氏による「水俣の風土を生かしたひと・いのち・くらしありきの住まい方、生き方のデザインへ」を題に講演を行った。



講演会の様子

水俣市では、エコハウスの基本設計に先立ち、台湾の原住民住宅地の見学ツアーを実

施した。台湾の生活スタイルである地域のコミュニティー場・家族のコミュニティーの場を参考にしたうえで、人間のつながりや協力し合うことの重要性を強調した

エコハウスを建設する上で子ども達に土壁ぬり体験や、泥団子づくりをさせ、地元の伝統構法に触れさせ、地元の風土を伝える。

事例発表では、三都市がそれぞれエコハウスの特徴を発表。

北九州市 環境ミュージアムの敷地内に隣接することで環境教育の一貫としても活用し「見える化、感じる化」を促進。

水俣市 昔ながらの知恵を生かし、地元の木材、人材を活用することにこだわった。職人技を次の世代につなげ、人のつながり「もやいの心」を強調。

宮古島市 高温多湿対策、台風対策、遮熱対策をしたうえで、自然の風を取り入れ快適な暮らしの南型環境共生住宅。

### 【意見交換会】

3都市に共通することは、窓が大きく、土間が存在し、日陰をつくるのが共通している。エコハウスは少しの不自由さを楽しむにすること。低炭素とは何かを伝えること。コストが高くて、長く持たすことを考える。最後に「エコライフはちょっぴり不便、たっぷり楽しい」という言葉で講演会は終了した。



意見交換会

